

可申儀ニ付右様取計申度且當出張所  
ノ儀ハ八月一日ヨリ三十一日間ニ賜  
候様致度此段奉伺候也

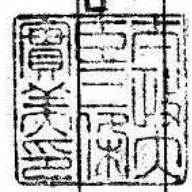
明治六年七月廿八日

開拓次官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

# 伺之通

明治六年七月廿日



第七十号

札幌本廳へ短スバンセル銃

御備付ノ儀ニ付伺

當使札幌本廳御備ノ為短スバンセル

銃五十挺陸軍省ヨリ御渡ノ儀昨壬申

六月中御許容ノ上御備相成居候然ル

ニ當使管内ノ儀ハ未タ鎮臺等ノ御設

毛無之ニ付兼テ非常ノ豫備無之テハ

不相叶候處右五十挺ノニテハ道路

遼遠ノ地方緩急間ニ合兼可申ニ付追

八月

第一号

用

石

吏

大臣

于全道兵備御着手ノ際ニ至ルマデ更  
ニ短スパンセル七連銃百挺附属品ト  
モ陸軍省ヨリ被相渡札幌本廳へ御備  
相成候様仕度候條却許容ノ上同省へ  
御達有之度此段奉伺候也

明治六年八月二日

開拓次官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

伺々陸軍省より去年に受取品  
有合年々陸軍省に出取奉

明治六年八月廿四日

太政大臣代理

各儀後藤象二郎  
各儀江藤新平



廿七十四号

札幌本廳へ小銃御備付、儀二付  
再伺

當使本年第七十號ヲ以テ札幌本廳へ  
短スヘンセル七連銃百挺御備付、儀  
奉伺候ニ付陸軍省へ御達相成候處現  
品有合無之段申出候旨御指令之趣致  
承知候然處右ハ兼而陸軍省於テ舊藩  
々所有之銃器類取纏近日右品モ當地  
へ到来之趣ニ付本廳へ小銃御備付之